

質 疑 応 答 書

案件名称：令和8年度さくら川護岸整備工事(その2)

No	質 疑	図面番号	回 答	図面番号
1	・鋼矢板圧入後～河床梁設置迄の期間仮設支保工(H-350)設置・撤去が必要と思われますがその歩掛が見当たりませんのでどのように対処すればいいのかご教示願います。		本設計の仮設工は指定仮設によるものではない為、仮設支保工設置・撤去は仕様書に含めておりませんが、仮設工検討により必要となる場合は協議の対象といたします。	
2	・河川土工で河床の掘削土の運搬が1.6kmとなっておりますが仮置場迄の運搬の解釈でよろしいでしょうか。 ・直接処分会社に持込むことは含水比が高くできません。又は直接処分となれば汚泥処分扱いとなりますので処分方法をご教示願います。		さくら川河床の掘削土につきましては、これまでの実績を踏まえ、砂質土を想定していることから締切を実施した現場内ではっ気し、第三種での処分として、積算しております。	

※ この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。質問の内容によっては回答に設計変更を含む場合もあることから、業者は質問の有無にかかわらず全文を読まれない。